

本部町地域公共交通計画(案)骨子

1. 計画概要

1-1. 計画策定の目的

本計画は、本部町の公共交通に関する施策の方向性を示すマスタープランに位置付けられます。本計画に基づき住民や、企業、交通事業者等が連携しながら、公共交通の利便性を高める取り組みを展開し、利用者数を増やすことで、持続可能性を高めていきます。

1-2. 対象地域

本計画は、本部町全域を対象とします。

1-3. 計画期間

本計画の計画期間は、2026(令和8)年から2030(令和12)年の5年間とします。

2. 公共交通の課題

本町における公共交通の課題は以下のとおりです。

- [交通結節点と基幹軸の形成](#)
道の駅もとぶオアシスと海洋博公園を中心に利便性の高いネットワーク形成
- [町中心部への移動ニーズへの対応](#)
スーパーや病院が集積する中心部へのアクセス確保
- [町外への移動ニーズへの対応](#)
北部地域の中心都市である名護市へのアクセス確保
- [観光周遊交通の充実](#)
北部地域の広域的な観光周遊を支えるネットワークづくり
- [観光二次交通の充実](#)
町内での観光周遊を促すための二次交通の充実
- [「交通空白」における移動手段の確保](#)
バス停までの徒歩移動が困難な地域における新たな移動手段の導入
- [夜間の移動手段の確保](#)
住民や観光客の夜間の移動ニーズに対応した交通サービスの確保
- [公共交通ネットワークの維持](#)
持続的に公共交通を支えるための仕組みづくり
- [公共交通利用促進による持続可能性の向上](#)
公共交通の利用を通じた維持への貢献

3. 将来ネットワークイメージ

新たに整備される道の駅「もとぶオアシス(仮称)」を中心拠点に、「海洋博公園」を観光中心拠点と位置づけ、両拠点を結ぶ区間を基幹軸に設定し、町内各方面から基幹軸にアクセスできるように、ネットワーク整備を図ります。

生活交通軸は、主に住民の移動ニーズに対応する軸で、各地域から中心部(道の駅「もとぶオアシス(仮称)」)を結ぶとともに、移動ニーズが高い名護市や今帰仁村とも連絡します。

観光交通軸は、主に観光客の移動ニーズに対応する軸で、海洋博公園を中心に、町内の瀬底島や、備瀬、水納島等の観光拠点に加え、町外の古宇利島や、ジャングリアなどの町外の主要な観光地とも連絡します。

コミュニティ交通は、路線バスが運行していない交通空白エリアから中心拠点の道の駅もとぶオアシスまでにアクセスするための移動手段であり、新たに導入を検討します。

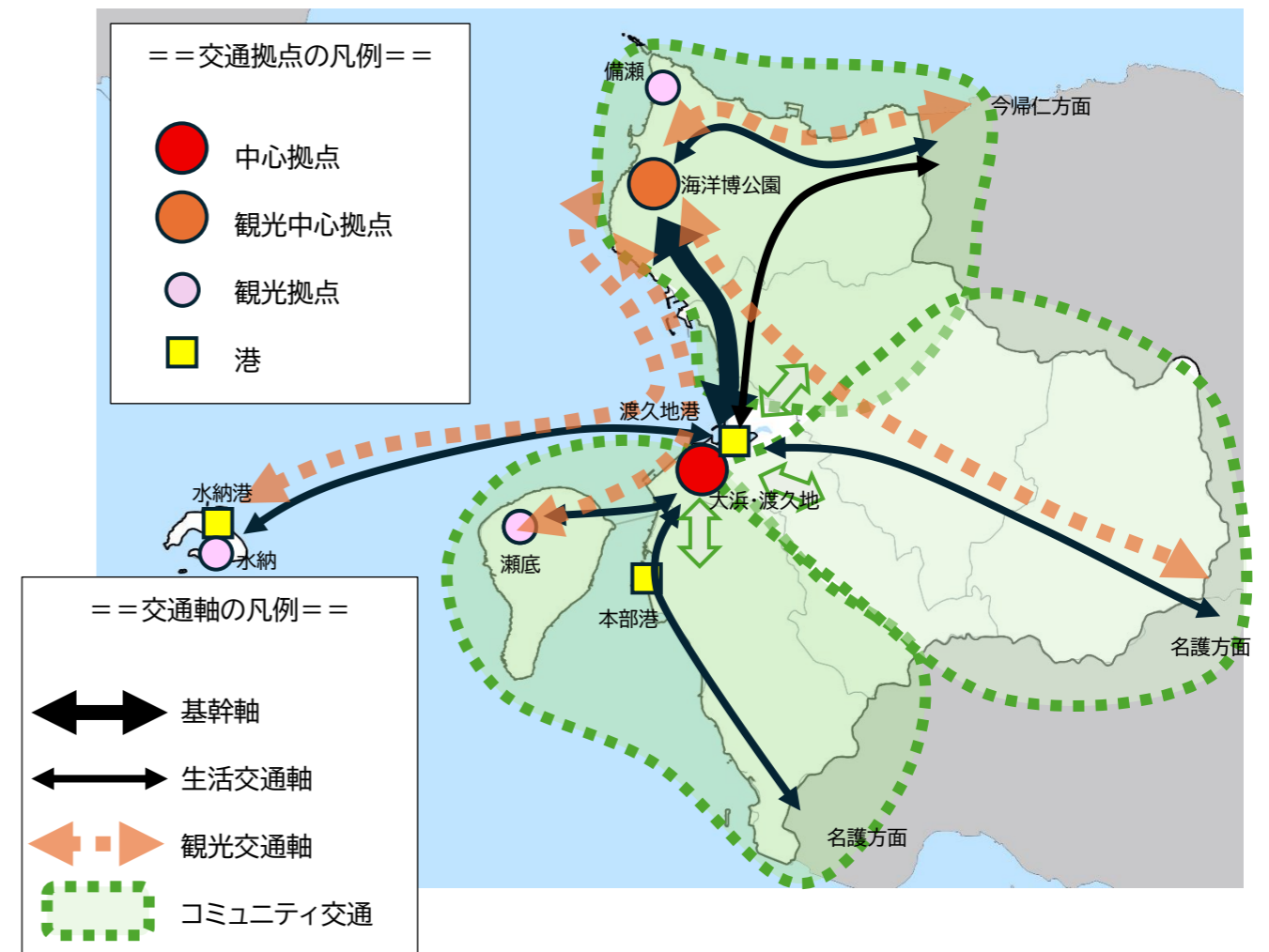


図 1 将来ネットワークイメージ

4. 本部町地域公共交通計画の体系

